

お母様は七十三歳の頃から、仏像の彫刻をされておりました。今回奉納された『薬師如来像』より以前も、東北大地震の際には、被災地の復興を祈り、また、被災者の方々の供養のために、ご自身で彫られた仏像を三十体程、各所に奉納されました。

宮崎県での巡拝講習会に参加出来なかった翌年の平成二十六年の初め、八十八歳になられてから、今回奉納された『薬師如来像』の彫刻を始められたそうです。

霊場会総会において 『薬師如来像』を奉納された際は、九州八十八ヶ所百八霊場会の多くの僧侶が集まっている会の中で奉納出来て良かったと、とても喜ばれていたそうです。

そんな中、今年度の巡拝講習会にも親子二人で参加の予定でしたが、お母様は四年前と同様、体調を崩され、参加が出来なくなりました。内田さんは「四年前と同じやね。病院行く？」とお母様に聞いたところ、お母様からは、「このまま家に居る。」と言う返事でした。内田さんはお母様がこの時、覚悟を決めたんだねと思ったそうです。その後、お世話になつていた方々や、手元に残っていたご自身で彫られた仏像に囲まれ、安心して眠るように、お母様は十一月一日にお亡くなりになりました。

多くの霊場巡礼をされてこられた内田様のお母様ですが、「最後に九州八十八ヶ所百八霊場巡礼を続けてたくさんの良き縁を頂き、おかげで人生の集大成が出来た。」と喜んで下さっていたとの事です。

内田さんのお母様には、これからの巡拝でお会いする事は叶いませんが、お母様が彫られ、奉納して下さった『薬師如来像』を是非ともお参りさせて頂きたいと思っております。

(南宗法) 合掌



下された『薬師如来像』を是非ともお参りさせて頂きたいと思っております。

(南宗法) 合掌

九州の霊場の良さ

第一観光株式会社

吉田 大樹 様



この度は霊場会様のご紹介で、本文を執筆致します。第一観光株式会社担当の吉田と申します。

当社は『お遍路の旅』に特に力を入れており、日頃より霊場会様には大変お世話になっております。重ねまして今回は貴重な機会を与えて頂いたことにも深く感謝致します。

さて、前述の通り当社では日本全国に加え、海外の霊場巡りも企画致しております。

お母様は七十三歳の頃から、仏像の彫刻をされておりました。今回奉納された『薬師如来像』より以前も、東北大地震の際には、被災地の復興を祈り、また、被災者の方々の供養のために、ご自身で彫られた仏像を三十体程、各所に奉納されました。

宮崎県での巡拝講習会に参加出来なかった翌年の平成二十六年の初め、八十八歳になられてから、今回奉納された『薬師如来像』の彫刻を始められたそうです。

そんな中、今年度の巡拝講習会にも親子二人で参加の予定でしたが、お母様は四年前と同様、体調を崩され、参加が出来なくなりました。内田さんは「四年前と同じやね。病院行く？」とお母様に聞いたところ、お母様からは、「このまま家に居る。」と言う返事でした。内田さんはお母様がこの時、覚悟を決めたんだねと思ったそうです。その後、お世話になつていた方々や、手元に残っていたご自身で彫られた仏像に囲まれ、安心して眠るように、お母様は十一月一日にお亡くなりになりました。

多くの霊場巡礼をされてこられた内田様のお母様ですが、「最後に九州八十八ヶ所百八霊場巡礼を続けてたくさんの良き縁を頂き、おかげで人生の集大成が出来た。」と喜んで下さっていたとの事です。

内田さんのお母様には、これからの巡拝でお会いする事は叶いませんが、お母様が彫られ、奉納して下さった『薬師如来像』を是非ともお参りさせて頂きたいと思っております。

(南宗法) 合掌



会報

第9号



発行者 九州八十八ヶ所百八霊場会

事務局 第八番札所 明王院

〒八二一-二四一一

福岡県糟屋郡篠栗町若杉五

電話 〇九二-九四七-七四六一

FAX 〇九二-九四七-六三四五

会長就任のご挨拶

第九番札所 明王院 高瀬 覚照



平成二十九年度より、前会長、小郡市第三番札所・かえる寺如意輪寺の原元秀僧正の後を受けて、福岡県担当より会長として、この度就任させて頂きました。誠に浅学非才の身なれど、大役に身の引き締まる思いです。精一杯努力させて頂いたたく所存ですので、皆様方のご支援ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

当九州八十八ヶ所百八霊場会は、昭和五十九年に第八四番札所福岡市姪浜の法蔵院先代の堤覚誠僧正を中心に当時の関係諸大徳の方々の並ならぬご苦勞の末に開創されて、その年の三月に第八八番札所宗像市鎮国寺にて開創法要が厳修されました。私がこの霊場会に関わったのは、第九番札所明王院の住職代行として出仕させて頂いた折からでした。

それから福岡県支局の事務員として末永く奉職させて頂き、特に福岡県内札所の参拝地図を県内札所寺院様方々の出資により作成したことが一番の思い出になっております。

後日全札所の参拝用地図の制作のお話がありましたが、折しもカーナビが普及し始めた頃で、当時の立部霊場会事務局長（第八八番札所鎮国寺）が作製見積書を出してありましたが、とても高額でしたので見送りとなった経緯があります。今は霊場会発行のガイドブックが参考になると存じます。

さて当霊場会も開創して三十四年目を迎えます。今は第一観光株式会社様の参拝ツアーをはじめとして、阪急交通社様や旅行会社各社様より、数回に分けての巡拝ツアーが九州各地より出発し、お陰様をもちまして、個人やご夫婦、グループでの巡拝も増えてまいりました。

これもひとえに、各札所ご寺院の巡拝ツアー客等への毎回毎回のおもてなしや御法話等々の積み重ねと、巡拝ツアーバスでの先達様方々のご苦勞のため

編集後記

今回の記事には、僧侶だけではなく、日ごろの巡拝を支えていただいている先達の皆様や旅行会社からの声を記事にすることができた。

こういった方々のおかげで、お大師様の尊い教えを広めさせていただいているというのを、心よりありがたいことだと思いつつながら編集作業を進めて行くことができた。

会報の紙面は限られていて、そのような活動の全てをお伝えできないのが残念であるが、陰ひなた関係なく霊場をお支えいただいている方々に、心から感謝申し上げます。

広報IT委員会

- | | | |
|------|-------|-------|
| 福岡県 | 佐伯 公経 | 楠野 吉弥 |
| 佐賀県 | 松本 龍希 | 山口 光玄 |
| 熊本県 | 中村 禎成 | 那須 寛永 |
| 長崎県 | 前田 大輔 | 南 宗法 |
| 大分県 | 吉水 亮善 | 野田 宜応 |
| 宮崎県 | 成松 昇紀 | 小島 正大 |
| 鹿児島県 | 小島 聖弘 | |

霊場会では、Facebookで最新の情報をアップしています。



それぞれの札所で、ご住職の想いや各地域の魅力にあふれた法要・行事ごとが行われています。

是非足をお運び下さい。

ものと感謝申し上げます。

九州内のお大師様とご縁のある札所寺院巡りの独特の霊場会であり、お大師様のお徳を偲んでの巡拝、お大師様の言葉に「暗黒は生死の源 遍明は円寂の本なり その元始をたずぬれば各々因縁あり」とあり、苦しみが深いこの世は暗い姿であり、悟りの世界は真実の明るい姿である。明暗の違いは各人の因縁によって作られている。(空海名言集)

各札所のご本尊様との縁を結んでお参りしていくと功德を積んでこの因縁を益々良き方向へ導かれていくと存じます。ぜひ皆さま方のご参拝をお待ちしております。

最後になりましたが、二年前の熊本震災、昨年の九州北部豪雨にて亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りいたしますとともに、被災された方々の復興を日々心よりお祈りしております。

合掌



霊場会 ホームページのご案内

九州88 で検索

もしくはQRコードをご利用ください



熊本県の情報は公式HPでも

第99番札所高野寺 味岡戒孝僧正、
第53番札所観蓮寺 那須寛永僧正
の巡拝記がアップされています。
どうぞ、こちらをご覧ください。



味岡僧正の巡拝記



那須僧正の巡拝記

いよいよ最終日。八時三十分発、第五二番高野寺に八時四十二分着。お寺の名前に寺と院という文字が入り、「ゴウジン」ではなく、「たかてらいん」と訓読みする珍しい名前と御紹介下さり、奥の毘沙門天堂を御開帳頂いた。九時二十五分発。
第九八番生善院(猫寺)九時五十五分着。正式名称より通称「猫寺」の方で有名なお寺。山門には狛犬ならぬ狛猫が参拝者を迎える。本堂廊下にあった旧暦三月十六日に用いられた化け猫のねぶたが印象的。また茅葺きで国の重要文化財指定の観音堂の御開帳頂く。十一時発。
十一時二十二分着。今回最後の札所、第五一番勘代寺着。境内右奥の方には、中心に弥勒菩薩が安置され、干支の護本尊が方角毎に配置されて男性の厄年四十三段、女性三十三段の石段を登り厄を祓う。勤行が終わる住職のお話の後に閉講式。その場で新たに二名の霊場会公認先達の任命。また今回で満の方に成満の証が授与。その後、高瀬会長より謝辞。続いて堤理事長より総括がなされて結願。
この三日間天気にも恵まれ事故も大きなトラブルも無く素晴らしい巡拝講習であった。(成松 昇紀)

巡拝講習会記

平成二十九年十月十日〜十二日
於 熊本県支所



十月十日より十二日の二泊三日の日程で熊本県内の札所を巡る巡拝講習会が開催された。本来ならば前年平成二十八年に開催されるはずが熊本地震の為に参拝地を変更して開催された。そして今年、熊本県下札所寺院巡拝が実現した。
晴天の中初日を迎える。参加者一同は第五七番札所蓮華院誕生寺に集合し十二時より開講式に参加。開式の辞に続いて御法楽。そして巡拝に先立ち高瀬霊場会会長より挨拶。
「霊場会が出来て三十三年目となります。長い間多くの方にお参り頂きました。そのような中、今回巡拝講習会と言うことで、各先達さんの元でお参りいただきたい。本来ならば去年熊本にて開催でありましたが、ご存知の通り震災のために延期となりました。本年は熊本県下の十三ヶ所のお寺に御協力賜り、無事に開催されることとなりました。二泊三日しっかりとお参りしていただきたいと思っています。今年も七月に大雨などで福岡や大分が被災しましたが、被災した方々の冥福と復興を併せて祈っていただきたいと思います。」との言葉を賜る。続いて開講式の会所である誕生寺住職川原僧正より御挨拶があり、続いて日程の説明・諸連絡の後、各自バス、自家用車に分乗して出発。

十三時三十分、第一〇一番勝勝寺着。成田山の別院で、山前の遊園地から賑わう声が聞こえてくる。境内・本堂内には御詠歌が流されていて遊園地からの聞こえてくる声と御詠歌の調べが混ざり合う聖俗混合した雰囲気の中の参拝。十四時に出発。
次の五八番金剛寺に十四時三十分到着。山門より四国八十八ヶ所霊場のお砂踏みをしつつ本堂に参拝し、勤行の後に御住職の法話を拝聴しました。帰りは西国三十三観音霊場のお砂踏みをしつつ十五時十五分に出発。
そして初日最後の札所第五番金剛寺に十六時十五分着。山鹿温泉の風情を感じつつお寺へ。こちらでも御住職のお話を給り十六時四十七分発。
ホテルに到着し、その日の夕食時に熊本札所寺院を代表して第五八番金剛寺住職赤星僧正より謝辞が述べられた。
明けて巡拝講習会二日目。八時三十分ホテル出発。八時四十五分に第五番本蔵院着。お出迎え下さった住職さまや寺族の方々、特に震災当日に誕生した一歳のお嬢様のお姿に参加者一同大いに心癒されたひととき。九時二十分定刻通り本蔵院発。
続いて同じ熊本市内第五六番金剛寺に九時三十分着。二階建て本堂で一階が駐車場となっているが、月極の為駐車の際は御注意を。一〇時一〇分に一路八代市へ。およそ一時間の行程。
十一時三十分、第五四番医王寺の近くにバス停車。道が狭く山門前にはバスが入れない為ここか



十三時三十分、第一〇一番勝勝寺着。成田山の別院で、山前の遊園地から賑わう声が聞こえてくる。境内・本堂内には御詠歌が流されていて遊園地からの聞こえてくる声と御詠歌の調べが混ざり合う聖俗混合した雰囲気の中の参拝。十四時に出発。
次の五八番金剛寺に十四時三十分到着。山門より四国八十八ヶ所霊場のお砂踏みをしつつ本堂に参拝し、勤行の後に御住職の法話を拝聴しました。帰りは西国三十三観音霊場のお砂踏みをしつつ十五時十五分に出発。
そして初日最後の札所第五番金剛寺に十六時十五分着。山鹿温泉の風情を感じつつお寺へ。こちらでも御住職のお話を給り十六時四十七分発。
ホテルに到着し、その日の夕食時に熊本札所寺院を代表して第五八番金剛寺住職赤星僧正より謝辞が述べられた。
明けて巡拝講習会二日目。八時三十分ホテル出発。八時四十五分に第五番本蔵院着。お出迎え下さった住職さまや寺族の方々、特に震災当日に誕生した一歳のお嬢様のお姿に参加者一同大いに心癒されたひととき。九時二十分定刻通り本蔵院発。
続いて同じ熊本市内第五六番金剛寺に九時三十分着。二階建て本堂で一階が駐車場となっているが、月極の為駐車の際は御注意を。一〇時一〇分に一路八代市へ。およそ一時間の行程。
十一時三十分、第五四番医王寺の近くにバス停車。道が狭く山門前にはバスが入れない為ここか



先達講習会に参加して

平成二十九年九月三日
於 第一番札所 東長寺



去る九月三日、第一番札所東長寺にて先達講習会が行われた。先達とは、主に修験道で行者の道案内をする指導者のことを指すが、これが転じて、巡拝する参拝者を導き、指導するものである。今回の講習会は、巡拝に際しお大師様の教えと信仰を身につけ、参拝に必要な知識を持った、霊場会公認の先達を養成するために年一回行われるものであり、今回も二十七名の参加があった。
各参加者は、巡拝の心得を渡されたが、その内容は、出発前の確認や参加者に対する諸注意など、ただ拝むだけにあらず、多岐にわたって細かなもので、参加者・巡拝者が迷わぬように配慮されていた。
その中でも「心くばり」を大事にされており、他の方の迷惑にならないように振る舞うことを旨とし、参加者が楽しい中に巡拝の素晴らしさを感じ、お大師さまのご威徳を実感できるように導く事が先達の役割であると述べられていた。
心得の内容を中心に講義が行われ、後半は読経の作法など実践面での講習があり、三時間ほどの講習会は、中身の濃さが変わらぬまま終了した。
初めての参加であったが、このような内容であれば、先達希望者だけでなく、巡拝に興味を持つている方にも聞いて頂いて、お大師様の教えとともに九州の霊場の素晴らしさをもっと実感していただけたらと感じた。
(楠野 吉弥)

薬師如来像奉納について

平成二十九年四月二十五日
霊場会平成二十九年年度総会に於いて

今年度、四月二十五日に開催された霊場会総会において、公認先達の内田英心さんのお母様が彫られた『薬師如来像』がお母様より奉納されました。今回、この事についてお話を伺いたいとお母さんに依頼させて頂いたところ、快諾して下さいましたので記事にさせて頂いております。
内田さんはお母様と共に、毎年巡拝講習会に参加されていきました。しかし平成二十五年の宮崎県での巡拝講習会の際、お母様が体調を崩され、内田さん一人で参加する事となりました。そして延岡市での開講式へ移動する中、宮崎県に着く前に、お母様の具合が悪化し緊急入院されたこと、内田さんのご家族から連絡があったそうです。
この時、内田さんは宮崎から、お母様の無事を祈り、巡拝されたのですが、この日の最後の三六番札所貫川寺の巡拝が終わり、お寺を出た時に、綺麗な虹が掛かっていたそうです。内田さんはこの虹を見てお母様の無事を感じていたところ、ご家族から連絡が入り、お母様が本当に無事に一命を取り留めた事を伝えられたとの事です。その後、お母様は一週間程で退院されました。



少し歩いてお寺に向かう。
こちらは昨年の震災で本堂が倒壊の危機にあり、今も鉄骨で支えたりしている状況。被害の生々しさを伝えてくる。医王寺を一二時に出発。南下して人吉市へ。
十二時五十分、青井阿蘇神社横の人吉温泉物産館着。昼食の後、徒歩にて第九九番高野寺へ。十三時四十分着。
八角形の本堂の珍しさに目を奪われる参加者の方々。住職さまより八角形は八葉蓮華を意味し堂内は、みほとけの浄土、つまり皆様は菩薩様であるとお話をいただき、帰りには高野寺名物のおみくじクッキーのお接待をいただきつつ、十四時二十分発。帰りは青井阿蘇神社へ参拝し、物産館駐車場のバスへ戻る。
十四時三十分、第五三番観蓮寺着。「観」と字の付くお寺「蓮」の字を冠するお寺は多いですが「観」と「蓮」二字同時に用いる大変珍しい名前のお寺。御住職さま曰く「大師御著『般若心経秘鍵』の、蓮を観じて自浄を知り、葉を見て心徳を覚る。より引用されたのではないか」という御説明。蒸し芋などの御接待をいただき、十五時に出発し二日目最後の札所へ。
十五時十七分、相良藩にも関係が深く後陽成天皇の勅願所でもある第五〇番願成寺着。保育園が併設されており子供達の声が聞こえ和やかな気持ちになる札所。十六時十五分発。人吉市内の宿へ。温泉に浸かり身体を癒し、その夜懇親会が開催され親睦を深めた。